

2016

1/1

January

No.246

市報やまぐち



特集 スポーツのチカラ

スポーツのチカラ

競い、その頂点を極める競技スポーツ

子どもから高齢者まで幅広く楽しむレクリエーションスポーツ

スポーツは、健康増進や体力の向上につながるだけでなく

人や地域の交流を促進し、地域の一体感や活力も生み出します

昨年、本市は「健康都市宣言」を行い、誰もが生涯にわたり

いきいきと暮らすことができるまちづくりを目指すこととしました

市民の皆さんがスポーツに親しみ、スポーツを通じて元気になることは

「健康都市やまぐち」の実現につながります

今回は、そんなスポーツのもつチカラについてお伝えします

■問い合わせ 広報広聴課 ☎ 083-934-2753



山口市議会議員 原真也

市民の皆様には、輝かしい新春を健やかにお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、平素から市議会への御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

市議会は二元代表制のもと、「山口市議会基本条例」に掲げる理念に基づき、市長をはじめ執行機関との立場や権能の違いを踏まえ、より身近で開かれた議会の実現に向け誠実かつ着実な議会運営に、本年も努めてまいりたいと考えています。

さて、人口減少時代や高齢社会の到来に伴う構造的な諸課題に対応し、将来にわたって活力ある地域社会の実現をめざす「地方創生」の取り組みが、国、地方における最優先の施策となっております。

こうした中、本市におきましては20年、30年先を見据えた将来のまちの姿をイメージし、若者の雇用創出や子育て・教育環境の整備など定住実現につながる取り組みが展開されようとしております。

市議会といたしましても、市民の皆様のお意見を十分にお聞かせいただき、明るく、元気で、いきいきとしたまちづくりを推進し、定住意識の醸成を図り「住んでよかった」と思える山口市をつくるため、今後も鋭意取り組んでまいり所存でございます。

新春に臨み、本年が皆様にとりまして幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますことを心よりお祈りし、新年のごあいさつといたします。

謹賀
新年



山口市長 渡辺純忠

清々しい新春を迎え、皆様に謹んで新年のお喜びを申し上げます。

現在、山口市総合計画のもと、未来活気「二つの創造」として広域県央中核都市づくりと協働によるまちづくりを進め、市民生活「四つの安心」として雇用・産業振興、子育て・教育、防災、健康長寿など、市民の皆様のご暮らしにおける安心の実現に取り組んでおります。

また、昨年10月には「山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、定住促進と少子化対策という地域社会の最重要課題に対応するため、「やまぐち地方創生100プロジェクト」を位置づけました。

本年は、こうしたまちづくりを積極的に進めるにあたり「これが私の故里だ 定住実現都市」予算を編成し、着実に実施してまいりたいと考えております。

特に、教育、アート、観光、スポーツ等で都市や地域の個性を際立たせ山口のファンを増やしていく「やまぐち(YAMA-good!-CHI)創生」をはじめ「人材・雇用創生」「都市・生活空間創生」の「三つの創生」に重点的に取り組み、次なる10年に向けた挑戦と市政運営の歩みを進めてまいります。今後とも、皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして幸多い年となりますことを祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

本市出身アスリート 世界を語る



大野将平 (おおの・しょうへい)
吉敷出身。柔道選手。7歳から叔父さんが指導する松美柔道場で稽古を始め、昨年の世界選手権では73Kg級で金メダルをとった。

れば一番になれないし、自分が強くなることでチャンスは大きくなる。相手と言うよりは自分を鍛えて強くなりました。

—国内に目を向けると、若い選手がどんどん強くなってきていますが危機感はないですか？
石川 私も14歳から試合に出させてもらっているから、自分の昔を見ているようで励みになります。

—大野選手は高校生の頃から現在まで73kg級で戦っていますが、この階級は国内で勝ち上がるだけでもとても厳しい階級です。階級へのこだわりがありますか？



西京高等学校で行われた柔道教室の様子。小さな選手が大きな選手を倒す極意を教えていた。

—昨年、女子サッカーワールドカップではベテラン勢が大活躍しました。今年にはリオオリンピック、4年後は東京でオリンピックが開催されますが、田中選手は今後どのあたりにピークを持つていきたいとお考えですか？
田中 4年後の東京オリンピックにピークを持っていきたいと思っています。27歳になっていく経験もある歳なのでそこで良い状態に持っていって、良い成績を出すことが大事だと思っています。それまで毎日しっかりトレーニングを積んで成長したいです。

—ところで、皆さんは海外に行くことが多いと思いますが、コミュニケーションはとれていますか？
石川 私は中国に行くことが多く、中国の選手と戦う事も多いので、中国語が話せるようになりました。大野柔道はポディーコンタクトなのであまり外国語で話す必要はありませんが、海

高い階級なので、その階級で一番になることが、誇りや、やりがいになっています。国内にも中矢選手など強豪がたくさんいますが、他の選手は関係なく自分がどれだけの柔道をするかが大事だと思います。

—さて、今年はブラジルのリオデジャネイロでオリンピックが開催されます。意気込みをお聞かせください。
石川 リオオリンピックを大きな目標にして、しっかり努力して、しっかり頑張りたいです。大野柔道は世界選手権で優勝してもオリンピックで金メダルをとらないと認められないという厳しい競技。でもそこにやりがいを感じていて、リオオリンピックで代表、そして金メダルを取ることを目標にやっています。

—田中さんが所属しているチームが今2部リーグにあるので、1部リーグに上がって活躍することで代表に入る可能性が見えてくる。代表に選ばれてリオでメダルを取ることに貢献したいです。



田中陽子 (たなか・ようこ)
小郡出身。サッカー選手。19歳の時に20歳以下のワールドカップで6得点あげた。日本代表の牽引役として期待されている。

—皆さんお会いになられて、どういう印象ですか？
石川 テレビや新聞などで見ていたけど初めて会うような感じではないですね。田中 同じ山口市出身で雰囲気似ているなと思いました。大野 今日初めてお会いしましたが、大学の先輩が石川選手の同級生で、当時の話は聞いていました(笑)。

—今や日本を代表するトップアスリートですが、どんなトレーニングをされていますか？
大野 柔道はコンタクトスポーツなので体作りに気をつけています。石川 練習を沢山して自信を付けて試合に望むようにしています。田中 風邪をひいたり怪我をしないようにしっかりと体をケアすることを意識しています。試合



名田島小学校の芝生グラウンドで行われたサッカー教室の様子。終始笑顔で楽しそうにプレーしていたのが印象的だった。

スポーツといえば、今年はスポーツの祭典オリンピック・パラリンピックがブラジルで行われます。昨年10月、山口市誕生10周年記念事業のために帰郷された本市出身のアスリート3選手に、競技スポーツについてインタビューしました。

—皆さんお会いになられて、どういう印象ですか？
石川 テレビや新聞などで見ていたけど初めて会うような感じではないですね。田中 同じ山口市出身で雰囲気似ているなと思いました。大野 今日初めてお会いしましたが、大学の先輩が石川選手の同級生で、当時の話は聞いていました(笑)。

—今や日本を代表するトップアスリートですが、どんなトレーニングをされていますか？
大野 柔道はコンタクトスポーツなので体作りに気をつけています。石川 練習を沢山して自信を付けて試合に望むようにしています。田中 風邪をひいたり怪我をしないようにしっかりと体をケアすることを意識しています。試合



田中陽子選手



石川佳純選手



大野将平選手



石川佳純 (いしかわ・かずみ)
平川出身。卓球選手。国体選手だった経験のあるご両親の元、4歳から卓球を始めた。今年のリオオリンピックには出場が決定している。

—皆さんお会いになられて、どういう印象ですか？
石川 テレビや新聞などで見ていたけど初めて会うような感じではないですね。田中 同じ山口市出身で雰囲気似ているなと思いました。大野 今日初めてお会いしましたが、大学の先輩が石川選手の同級生で、当時の話は聞いていました(笑)。

—今や日本を代表するトップアスリートですが、どんなトレーニングをされていますか？
大野 柔道はコンタクトスポーツなので体作りに気をつけています。石川 練習を沢山して自信を付けて試合に望むようにしています。田中 風邪をひいたり怪我をしないようにしっかりと体をケアすることを意識しています。試合

—皆さんお会いになられて、どういう印象ですか？
石川 テレビや新聞などで見ていたけど初めて会うような感じではないですね。田中 同じ山口市出身で雰囲気似ているなと思いました。大野 今日初めてお会いしましたが、大学の先輩が石川選手の同級生で、当時の話は聞いていました(笑)。

—今や日本を代表するトップアスリートですが、どんなトレーニングをされていますか？
大野 柔道はコンタクトスポーツなので体作りに気をつけています。石川 練習を沢山して自信を付けて試合に望むようにしています。田中 風邪をひいたり怪我をしないようにしっかりと体をケアすることを意識しています。試合

3名様にアスリート3選手のサインをプレゼント



山口市を代表するアスリート3人のインタビューはいかがでしたでしょうか。3選手からサイン入り色紙をいただきましたのでプレゼントします。ご希望の方はハガキで、①〒住所、②氏名、③年齢、④市報やまぐちの感想を記入の上「アスリートサイン希望」と書き添えて、1月29日(金・消印有効)までにご応募ください。抽選で3名様にプレゼントします。なお当選は発送をもって代えさせていただきます。(当選者には2月上旬発送予定)

応募先 〒753-8650 山口市亀山町2-1 広報広聴課あて



昨年10月に本市が開催したスポーツ教室の様子。野田学園中学・高等学校の第二体育館で丁寧に手ほどきしていた。



親子で学ぶコーディネーション運動教室に参加された平野恵津子さん、咲来ちゃん親子。親子のふれあいが笑顔を生む。



コーディネーション運動教室を開いている中田さん。中田さんは市立小学校教諭で、保健体育を専門とし、子どもの体力向上をめざし、授業の中で日々実践しているという。

教室では、子どもたちだけにさせるのではなく、親も一緒に同じ動きをすることで、親子の一体感や、なによりも時間が生まれ、コミュニケーションや運動機能を高めることができます。

秋に行われた小学1・2年生対象の教室に伺いました。体育館には親子の笑顔が溢れていました。小学1年生のお子さんと参加した平野さんは、毎日宿題ばかりに追われ親もしかりがちな時間が多く、笑って一緒に過ごす時間を増やしたいと思いついて参加したと言います。「参加してから

昨年9～11月にやまぐちリフレッシュパークで行われた小学校低学年対象のコーディネーション運動教室。サッカーや野球のような決まった競技ではなく、基礎的な運動能力を遊び感覚で伸ばしていくことに重点を置いている。



ラダーと呼ばれる枠をステップしながら前に進む児童たち



親子で運動、楽しいね

子どもたちの体力や運動能力が落ちていないと感じたことはないでしょうか。文部科学省の新体力テストでも最近の子どもは体力や運動能力が落ちてきているという結果が出ています。親子で気軽に楽しく運動をする新たな取り組みを取材しました。

親が時間を作る

市レクリエーション協会理事長の中田徹さんに、子どもたちの運動能力の現状について話を伺いました。「今の子どもたちは遊ぶ『時間』、『空間』、『仲間』の3つの『間』が昔より減っている。そのため、大人の『手間』がより必要」と中田さん。昔から親の行動を見て子は育ってきました。近年インターネットやゲームなどが普及し、共働きする親も増え、親子が触れ合う機会が減った事が子どもの体力不足の要因の一つとしてあげられます。「親が行動すれば子どもも行動する。大切なのは親子で体を動かす時間を増やすこと（『手間』）」と中田さんは分析しています。

コーディネーション運動が親子の笑顔を作る

中田さんは、親子で体を動かす機会として「親子で学ぶコーディネーション運動教室」を開いています。コーディネーション運動とは体のさまざまな機能をうまく働かせ、思うように体やボールなどをコントロールする能力を高める目的で行う運動のことです。運動

は笑って過ごす時間が増え、娘は体力だけではなく集中力もついた。子どもと楽しく一緒に汗を流す時間をこれからも大切にしていきたい」と笑顔で話されていました。

運動IIクラブチームと決めつけない

中田さんはスポーツを取り巻く現状について「運動と聞いて、スポーツ少年団に入れなければと考えたり、習い事をさせたりしがち。しかし、この時期に大事なものは、親子と一緒に、遊び感覚で体を動かすこと、その時間と楽しさを共有すること」と話されました。

体格は良くなっているものの、体力は下がっており、身体能力の低下が明らかである。

文部科学省が実施した体力測定結果

		身長 (cm)	50m走 (秒)	ソフトボール 投げ (m)
男子	親の世代	142.8	8.8	34.8
	現代	145.3	8.9	28.4
	差	+2.5	-0.1	-6.4
女子	親の世代	145	9.0	20.8
	現代	146.9	9.1	16.7
	差	+1.9	-0.1	-4.1

※親の世代…昭和56年度の11歳
現代…平成25年度の11歳



市民体育大会の競技種目にもなっている「グラウンド・ゴルフ」。普段からたくさんの方が大会が開催されています。昨年9月に市内で開催された大会を訪ねました。グラウンド・ゴルフは競技人口

**目指せ！医療費削減
グラウンド・ゴルフ**

らし。中には、一日会話することが無い日があるという方もおられ、週一回の交流は楽しみの一つという事です。この他にも、11月には鑄銭司地域でも取り組みが始まり、市では「いきいき百歳体操」などの運動を通して、より多くの方に元気で過ごしてほしいと考えています。

が年々増えており、この日は65歳から92歳までの約120人の市民が参加しました。

市グラウンド・ゴルフ協会の経廣正幸会長は「家で一人でじっとしているよりも、仲間と一緒に交流しながら楽しく身体を動かせば、健康になって医療費等も軽減できる」とスポーツがもたらす波及効果についても話されました。

阿東地域から参加された女性は「グラウンド・ゴルフは健康を維持でき、仲間と楽しく交流できる。生きがいの一つ」と話されました。将来的には「市内に専用コースができれば、県内外から参加者を呼べる大会を開催して、市内の経済活性化にもつなげたい」と経廣さんの夢は膨らみます。



昨年10月に行われたねんりんピックで県代表としてゲートボールに出場した秋本慈子さん（大歳・95歳）

やまぐちフレッシュパークで行われたグラウンド・ゴルフ大会でホールインワンに喜ぶ参加者。市内各地で頻りに練習や大会が行われており、中には市内外から300人が参加する大会もあるほど、交流が盛んになっている。



体操が終わった後も楽しい時間を過ごす参加者。この日は、参加者が持ち寄ったいちごやサツマイモなどを使ったスイーツでちょっとした茶話会気分。仲良くご夫婦での参加もあった。（梅の里かわばた邸・鑄銭司）



楽しく交流、健康長寿

最近よく耳にする「健康寿命」。健康寿命とは健康上の問題で制限されず日常生活を送ることができる期間を示したものです。スポーツや運動を通して健康寿命をのばすことに積極的に取り組んでいる高齢者の現場取材しました。

百歳まで続けられる体操広がる

地域の中で自分らしく生きがいをもって生活できるように、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みが各地域で進んでいます。いち早く取り組みを始めたのは、阿東地域福地区。昨年9月から「いきいき百歳体操」で介護予防に取り組んでいます。

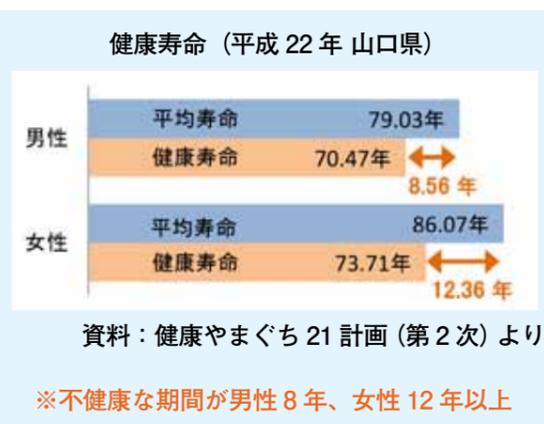
いきいき百歳体操は、百歳まで元気で過ごせるようにと高知市で考案された体操です。手や足腰におもりの負担をかけながら体力や筋力を維持していきます。無理なくでき、効果も実証済みということで、全国で広がっています。



参加者の体力にあわせて、おもりの負担を調整。無理なく、自分にあった体操を行うことができます。（ほほえみの郷トイトイ・阿東地福）

元気の秘訣、自分流に

今回紹介したいいきいき百歳体操やグラウンド・ゴルフのほかにも、ウォーキングやラジオ体操など、さまざまなスポーツや運動を通して健康維持に取り組む高齢者がおられます。さらに、人や地域の交流が生まれて、心も身体も健康になれば健康寿命もきっと延びるはず。「いつでも」「どこでも」「いつまでも」、楽しみながら無理なく気軽にでき、自分の生活スタイルにあったスポーツや運動を見つけてみてはいかがでしょうか。



平均寿命と健康寿命の差は、健康上の問題で日常生活が制限される期間。この差をどう縮めていくかが課題。

障がい者スポーツが社会を変える
 平成24年に行った市民アンケートで、「第11回全国障害者スポーツ大

野さんは、26年前にリュウマチで歩くことができなくなり、自宅に引きこもっていました。しかし6年前、大平さんが代表を務める卓球教室に母親と参加した事をきっかけに、卓球を始めました。
 深野さんは、平成23年の国体・山口大会に出場することを目標に大平さんの指導のもと少しずつ練習しました。努力のかいあって徐々に体が動かせるようになり、同大会では金メダルに輝きました。そして昨年は、ドイツで行われた障がい者の卓球世界大会で世界12位になりました。
 「海外遠征はいつも自費で参加している。金銭的にも大変だが卓球が好きだから続けたい」と笑顔で語る深野さん。今後については「4年後に東京で開催されるパラリンピックに出場すること」と夢を語りました。また大平さんは「会員の方々が競技力をさらに向上して、パラリンピックなどで上位入賞してもらえよう支援していきたい」と話しました。

昨年11月に大阪で行われた第7回国際クラス別パラ選手権の女子クラス8で優勝したときの深野さん。



小学校の時に市内の清水卓球道場に通い卓球の腕を磨いていたという大平さん(左)と深野さん(右)。



【競技団体等一覧】※市内の団体のみ

競技名(団体名)	連絡先	競技名(団体名)	連絡先
陸上(県障害者陸上競技連絡協議会)	083-924-0499	バレーボール(デフ・パワフル・レディース〈聴覚女子〉)	083-986-2818
陸上(日本盲人マラソン協会山口支部)	083-920-3580	バレーボール(県精神障害者バレーボール連盟)	083-973-0384
陸上(ふしの学園陸上競技部)	083-928-0415	サッカー(県知的障がい者サッカー連盟)	083-986-2054
卓球(県障害者卓球協会)	083-922-9768	サッカー(県ろうあ連盟サッカー部)	083-986-2818
ボウリング(県障害者ボウリング協会)	083-924-2200	フットベースボール(るりがくえん)	083-986-2074
バスケットボール(県FIDバスケットボール連盟)	083-973-4183	射撃(県障害者射撃協会)	083-941-8608
車椅子バスケットボール(山口スカイクラブ)	083-932-1572	バドミントン(山口障害者スマッシュクラブ)	083-922-4967
ソフトボール(県障害者ソフトボール協会)	090-4657-1556	スポーツレク(ヤングパワーズ)	083-927-4470
ソフトボール・軟式野球(西京スターズ)	090-4657-1556	ボッチャ(県ボッチャ協会)	083-941-5656

専門家の意見

今回の特集記事掲載にあたり、山口県障害者スポーツ協会常務理事の三枝啓己さんは、「スポーツとは意図的な身体活動だと思ふ。寝たきりのような重度の障がい者でも補助器具や介助により楽しめる種目があるので挑戦して欲しい」と話していました。また、「最近では障害の容姿を人に見られたくないという人はめったにいない。大切なのは見る側が障がい者を理解し、人として見る事だ。そうすればもつと障がい者もオープンになる」と話していました。

会「おいでませー山口大会」は障がい者への関心を高める効果があったことがわかっています。また今年にはオリンピックとパラリンピックが開催され、障がい者スポーツへの関心がこれまで以上に高まることでしょう。市内には障がい者もスポーツに参加できるようさまざまな障がい者競技団体があります。今年にはオリンピック、そしてパラリンピックイヤーです。より多くの市民が障がい者に理解を深める年になればと思います。



卓球のラリーを続ける大平さん(中央)と深野さん(左)



障害を乗り越え、夢は世界へ

「すべての個人はいかなる種類の差別もなく、オリンピック精神によりスポーツを行う機会を与えられなければならない」
 オリンピック憲章「オリimpiズムの根本原則」の一部抜粋です。
 障がい者と聞くと、福祉の分野だと思ふ人も少なくないと思いますが、境遇に悲観することなく、創意工夫し上を目指す姿は健常者のスポーツと何ら変わり有りません。
 障がい者スポーツの現状取材しました。

支えられる側から支える側へ

金曜日の夜。身体障害者福祉センターの体育館に入ると、卓球のラリーが続いていました。女性選手とラリーを続けていたのは大平悟さん。24歳の時に火災に遭い、全身の50%以上に重いやけどを負いました。両手指に障がいを持ち「もう卓球はできないのか」と、希望が持てない日々が続きました。しかし、自分より症状の重い人が卓球をしている姿が刺激になり卓球を少しずつ再開。健常者と互角にゲームができるようになりました。そして「重度の障がい者でも卓球ができるよう協力・支援したい」と、平成2年に「障害者卓球協会」を設立。障害者卓球協会では毎週金曜日の夜、身体障害者福祉センター体育館で障がい者も健常者も一緒になって卓球に汗を流しています。

諦めなごは諦め、海を越えて

そんな大平さんと共に、障がいを乗り越え世界を目指そうとしている人がいます。大平さんとラリーを続けていた深野めぐみさんです。深



ソフトペタンクは、床に描いたサークルから目標球にボールを投げて相手より目標球に近づけることで得点を競う。

人たちを見てみると、こちらもうれしくなる」と徳永さんは語ります。年齢や体力差に関係なく一緒に競技できるのがニュースポーツの魅力です。これからもスポーツ推進委員として、積極的に普及していくということですが、

スポーツは、体はもろん心の元気にもつながります。運動は良いことだとわかってはいるが、何をすれば良いかわからない方、誰でも気軽に楽しく参加できる、ニュースポーツに一度参加してみたいかがですか。



シャフルボードは、コート反対側にある得点源に向かって、円盤（ディスク）をキューと呼ばれるスティックで押し進め、得点を競う。

山口市スポーツ推進委員の徳永さん。スポーツ推進委員になって4年。30代から20年近くにわたり、地域のスポーツ振興のお手伝いをしている。



ニュースポーツ体験（ディスクゲッター9）の様子

スポーツがもたらすもの

普段皆さんは日常生活の中で、運動やスポーツとどのように関わっていらつしやるでしょうか。

健康や体力作りのためにランニングや散歩をしたり、プロを目指して厳しいトレーニングをしたり、子どもや孫の試合を観に行ったり、地域のスポーツ大会のお手伝いをしたり、さまざまな関わり方があると思います。

本市では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」という関わりの中で、「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会の実現を目指しています。

スポーツや運動といえば、「する」というイメージがあると思いますが、「みる」「ささえる」ことも、欠かせない要素です。多くの方が何らかの形でスポーツや運動に関わり、多くの方と触れ合っていたり、多くの方がスポーツを通じて元気なまちなっていきと考えています。

今年にはオリンピックキヤーです。平川出身で卓球の石川佳純選手を始め、本市出身選手の活躍が期待されています。また、Jリーグ2部に昇格したレノファ山口FCの戦いからも目が離せません。

2016年、まずは「みる」ことから初めてもいいかもしれません。

生涯学習・スポーツ振興課
0833・9334・2912



スポーツに親しむきっかけに

オリンピック、選手権などさまざまなスポーツの舞台がありますが市では市民が気軽に参加できる場として市民体育大会やウォーキング教室などを開催しています。そんな中、子どもから高齢者まで誰もが楽しめるニュースポーツについてご紹介します。

ニュースポーツを知っていますか

「体を動かしたいけど、本格的なスポーツはちょっと、という人にピッタリなのが、ニュースポーツだ」そう語るのは、大内地区のスポーツ推進委員の徳永哲夫さんです。クロリテイ、キンボール、カローリング等、ニュースポーツの数は実に数十種類におよびます。その中には、あまり体力を必要とせず、それでいてゲーム性が高い競技がたくさんあるため、運動が比較的苦手な人にとっても楽しく参加できる魅力的なスポーツなのです。

昨年10月12日、リフレッシュパークで、山口市スポーツ推進委員協議会主催の「やまぐちニュースポーツフェスタ」が開催されました。グラウンド・ゴルフ、シャフルボード、ソフトペタンク、ダーツの4競技を3人1チームのチーム対抗で競いました。参加者は高齢者が中心でしたが、一様に額にじんわりと汗をかきながらも、終始笑顔だったのが印象的でした。

「ニュースポーツは、一緒にやっ

レノファのJ2昇格が魅せた 地方創生の道筋



J3優勝を決めた最終戦は鳥取で行われたにも関わらずおよそ2000人のレノファサポーターが詰めかけた

レノファの活躍とまちづくり

皆さんは、レノファ山口FCにどんなことを期待しますか。スポーツ観戦という親子で一緒に楽しめる時間が増えるのでしょうか。それとも全国から観客が訪れることで市内に活気が生まれるのでしょうか。本市では、まちの魅力を市内外にアピールすることで、観光客の増加や特産品の販売促進、新たな交流人口の増加、企業誘致の促進など、活性化を図っています。レノファというブランドには、本市が行っている地方創世への取り組みの要素が全て込められていると言えるのではないのでしょうか。昨シーズンJ3リーグで戦ったレノファの戦いぶりから、レノファというブランドが山口市にもたらした効果を考えてみました。

4000人がお祭り騒ぎできる場所

設立後9年を経て、一昨年JFL（ジャパンフットボールリーグ）からJ3リーグに昇格したレノファ。昨年の3月15日の開幕戦に合わせ、レノファ山口アシストクラブ準備会は会場を15000人で埋め尽くそうというプロジェクトを企画されました。このプロジェクトについて、ウィッセ

ル神戸やアビスパ福岡を経て昨シーズンからレノファの経営企画室長に就いた中島和彦さんは当時「J3の1年目でこんな盛り上がりを見せるチームは経験上ない」と語っていたように、開幕前からレノファを支える地元の勢いは他に類を見ないものでした。そして開幕戦は、J3で最も多い7194人を動員しました。レノファをサポートするボランティア団体「チームBONDS」として会場に入場券を発売していた古田慶子さんは、「毎回たくさんの方が集まってくれてうれしかった。私はスタジアムの中は見れなかったけどチケットを売りながら盛り上がりを感じた。隔週で4000人集まるような事は、これまで無かったのではないかと話していました。レノファの活躍は、山口にお祭りのようににぎわいをもたらしました。」

超攻撃的サッカーが維新劇場を魅了

勝負の世界に必要な結果が伴ってきたこともレノファの人気の理由です。特にJリーグの22歳以下選抜チームとは8対0と勝利し、記録的な試合結果となりました。これは、Jリーグ史上2番目の記録です。そして、シーズンが終わってみれば、J3の得点ランキングでは上位3人がレノファの選手で独占しました。1位の岸田選手に至っては32得点、9試合連続ゴールでJリーグ新記録も樹立しました。

人が人を呼ぶレノファのしかけ

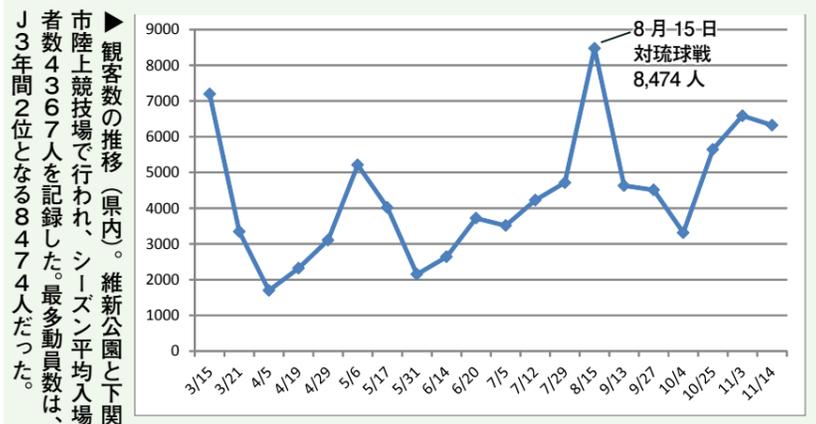
レノファの攻撃的なサッカーはマスメディアも味方につけました。テレビニュースのスポーツコーナーではゴールシーンが繰り返し放送され、そのたびにJリーグ全体でも3番目に若い（平均年齢24歳の）初々しい選手の甘いマスクが映し出されました。このことは女性の心も揺さぶったようで、試合会場には若手アーティストのコンサート会場かと思間違えるような雰囲気もあり、ツイッターやフェイスブック上では「レノファ女子」と表現する人も現れるほどでした。また、お孫さんを連れきた高齢者の方も多く、レノファは若者男女を問わず人気を集めていました。

サッカー維新がまちに活気を

ここ十数年で県や市が地域活性化にと、取り組んできた、「山口きらら博」や「山口国体」「世界スカウトジャンボリー」「ねりんピック」などの大規模なイベント等の開催は、県民と行政が一体となり、まちににぎわいを生む県民総参加型のスタイルを根付かせました。そのことがレノファというブランドにうまく融合し、若

きルーキーたちの活躍がまちに活気を生み、消費を拡大し、マスコミヤ来県者による山口のイメージアップにもつながるなど、これ以上ないトップセールスになりました。全国を相手に戦い、勝ち取って築き上げたレノファブランドは、自らが広告塔となり明治維新策源地山口市を全国区に押し上げていくと考えてもいいかもしれません。

0833・934・2753
広報聴聞課



▲県民や地元企業、行政が一体となって立ち上がり、プレミアムチケットの作成や交通渋滞の緩和策などが話し合われた。



▲昨シーズン、初戦の鳥取戦でゴールを決めた後、サポーターの声援に応える岸田選手（右）と若きルーキーたち。



▲オレンジ色に染まるゴール裏。子どもから高齢者までファン層が厚いのがレノファの特徴だ。

順位	チーム名	勝点	得点	失点	得失点差
1	レノファ山口	78	96	36	60
2	町田ゼルビア	78	52	18	34
3	長野パルセイロ	70	46	28	18
4	SC相模原	58	59	51	8
5	カターレ富山	52	37	36	1
6	ガイナレ鳥取	50	47	41	6
7	福島ユナイテッド	49	42	48	-6
8	ブラウブリッツ秋田	45	37	40	-3
9	FC琉球	45	45	51	-6
10	藤枝MYFC	37	37	61	-24
11	グルージャ盛岡	35	36	47	-11
12	Jリーグ・U-22選抜	28	28	71	-43
13	Y.S.C.C横濱	27	24	58	-34

2015年J3得点ランキング

順位	選手名 (チーム)	得点
1	岸田和人 (山口)	32
2	福満隆貴 (山口)	19
3	島屋八徳 (山口)	16
4	大石治寿 (藤枝)	14
5	鈴木孝司 (町田)	12
5	佐藤悠希 (長野)	12
7	樋口寛規 (相模原)	11

▲岸田選手は2014年もJFLで得点王だった。福満選手は昨シーズン、1試合で3得点あげるハットトリックを2試合連続で決めた。



▲昨年12月13日、中心商店街でJ3優勝・J2昇格を祝うパレードが行われ、およそ2万人の観客らが集まった。岸田選手が契約更新を報告すると拍手喝采が巻き起こった。

■大内文化特定地域まちづくり構想がまとまる

11月4日、大内文化街道まちなみ協議会が「大内文化特定地域まちづくり構想」を市長へ提出されました。この構想は、1年余りの協議、検討のうえ、地域内の街並み景観を軸とする、まちづくりの具体的な構想としてまとめ上げられたものです。

同協議会の小山哲彦会長は「地域が主体となって取り組み、市の活性化につながるようまとめた」と述べられ、市長は「大変すばらしい構想をまとめていただいた。市として着手可能なものは、順次、

事業実施に向けた検討を進めた」と述べました。市では今後、地域住民の皆様と連携し、歴史と文化によるまちづくりを推進していきます。



小山会長（左）からまちづくり構想を受け取る市長

■安原家所蔵の中原中也関係資料を市へ寄贈

11月4日、本市出身の詩人中原中也と親交のあった故安原喜弘氏が所蔵されていた中原中也の書簡、遺稿、遺品127点を、ご遺族の安原喜秀氏（東京都町田市在住）から本市へ寄贈いただきました。

故安原喜弘氏は、中也の第一詩集『羊の歌』の発刊に尽力された人物で、寄贈に



安原喜秀氏（左）から目録を受け取る市長

あたり安原喜秀氏は、「父と母が長年つてきた実物の資料をもっと多くの方に見ていただきたい」と述べられ、市長は「中也を語る上で、無くてはならない貴重な資料を寄贈いただき、感謝申し上げます。故安原喜弘氏とともに中原中也記念館でしっかりと後世へ伝えていきたい」と述べました。

市では今後、中原中也の詩の世界をはじめ、さまざまな文学に親しめるまちづくりを推進していきます。

文化政策課 ☎0833-9334-2717

8月19日～22日、友好都市締結30周年を記念して、市長・副議長ほか公式訪問団9人が中国・済南市を訪問しました。訪問団は、王文濤書記と会見し、30周年を迎えたことの喜びを分かち合い、特に観光、文化、青少年交流の分野で積極的に交流し、友好の発展に取り組むことをお互いに確認しました。また滞在中は市内の泉城公園（山人口と山東省友好10周年を記念して設置された防長亭のある日本庭園の敷地内）にて記念植樹が行われました。その他、青少年交流の分野で交流のある済南市青少年宮を表敬訪問しました。

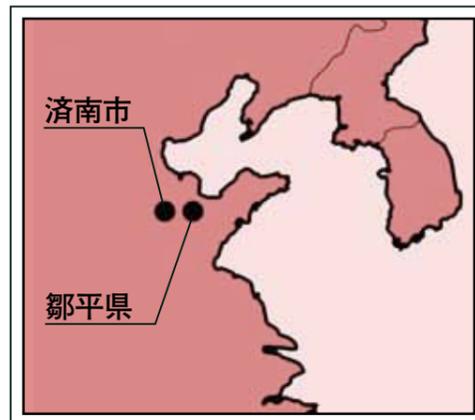


済南市青少年宮にて児童の作品の説明を受ける市長

済南市での2日間の滞在中、旧小郡町より交流のある鄒平県を訪れました。訪問団は、趙偉宏書記と会見し、今後の友好親善を促進することを確認しました。滞在中には中国を代表する企業である山東魏橋創業集団有限公司も視察しました。

市は今後も、青少年交流を中心とした、市民同士の心と心が通じ合う、草の根の国際交流を推進していきます。

国際交流室 ☎0833-9334-27215



■済南市 昭和60年に本市と友好都市締結。中華人民共和国、華北エリアに位置する山東省の省都。人口695万人。市内には100以上の泉があり「泉のまち」として知られ、泉水でできた大明湖や趵突泉が有名。プロスポーツチームとして山東魯能泰山フットボールクラブがある。

■鄒平県 平成7年に旧小郡町と友好交流の促進を内容とする議定書を締結。済南市の隣の浜州市が管轄する5県のうちのひとつ。製造業が盛んであり「中国綿紡績都市」「中国糖都」「中国コーン油都市」などと呼ばれている。

国際交流

市内の魅力を紹介！

山口市 一の坂においでマルシェ



昨年新しくオープンした「一の坂川交通交流広場」で、小さな市場が開かれています。地元の農家さんが中心となり、食を通じた新しい出会い・交流の場を作ろうと企画されたものです。生産者の顔を見て、言葉を交わしながら、旬の農産物や暮らしを彩る花・植物などを直接買うことができます。周辺には子どもも楽しめる公園や、古民家を改装した大人向けのお店などもありますので、まち歩きを兼ねて、ぜひお越しくださいませ。

【おいでマルシェの坂】
 ■日時 1月10日（日）9時～15時
 ※2月以降は毎月第1日曜に開催
 ■場所 一の坂川交通交流広場（中河原町）
 ■問い合わせ 交流産業企画室 ☎083-934-2928

近隣自治体と広報紙で情報を交換しています！

宇部市 防府市



潮彩市場防府は、昨年10月10日に「道の駅」になりました。

1階では、地元で水揚げされた鮮魚を中心に昔懐かしい対面形式で販売、2階では、海鮮料理や創作料理をはじめ、喫茶メニュー等の飲食店街をお楽しみいただけます。

■日時 3月13日（日）7時30分～9時10分受付
 ■会場 万倉ふれあいセンター（スタート、フィニッシュ）
 ■部門 フルマラソン、クォーターマラソン、5km、2km
 ※参加資格、参加料は、部門により異なります。
 ■定員 2,500人（先着順）
 ■申込期限 1月29日（金）
 ■問い合わせ 実行委員会事務局 ☎0836-32-9600

■場所 防府市新築地町2-3
 ■店舗営業時間 9時～18時
 ※定休日は毎週水曜（祝日の場合は営業）。なお、1月1日（金・祝）～4日（月）はお休みです。
 ■問い合わせ 道の駅 潮彩市場防府 ☎0835-28-2100

不定期コラム 地域おこしタイムズ No.1 笹谷志枝里

今号から不定期で始めるコラム。ここでは市内で活躍している地域おこし協力隊の素顔をお伝えします。今回は阿東地域で活躍中の笹谷さんに寄稿していただきます。

突然ですが、スローツーリズムってご存じですか？その土地ならではの食材を生かした郷土料理の提供、こだわりの特産品の開発、農林漁家民宿の取り組みなど、地域の魅力を高め、「住む人」「訪れる人」とともに地域の時間・空間・文化などをゆつくりと楽しむ、簡単にいうと田舎をじっくり楽しむという意味です。

私は阿東地域の地域おこし協力隊として、スローツーリズムの推進を任務としていますが、農家民泊の受け入れをサポートしているうちに、自分でもやってみたく思うようになりました。でも農家ではないのでそれができません。もどかしい毎日が続き、プライベートでできないかなと思っていたある日、都心に住む高校時代の女友達から「田舎の魅力って何？遊ぶ場所ないし、住んでるのもったいなくない？」と言われた事がありました。どうも誤解されているようです。確かに私が東京にいたと

きは身近に遊ぶ場所がたくさんあって、自分は大切にできる時間が増えたと、主食は阿東のおいしいお米に変わり、健康的な生活をおくらせているんです。彼女たちに田舎ならではの楽しみもあることを伝えたくて、今年の夏、プライベートで「ササヤツーリズム」というのを企画してみました。バスガイドさんが良く持っている旗がありますよね。あれに似た物を作ることから始めました。

そして私の考える阿東のオススメスポットを集めたツアー冊子を作りまして、あつと和牛や日本海の魚などを買って来て、家の庭でバーベキューもしました。雰囲気を出すためにガーランドを飾り、家の入口に看板も作って友達をもてなしました。ちょっとした演出がその空間を特別な物にします。友達も満足で、冬には庭にこたつを出して寒空のもと「星空銅パーティー」をしようと思いがっています。

東京から阿東に移住して1年が経つ笹谷さん。都会に住む友達をモニターとして活用して、地域おこしに生かしているようです。



1月 イベント 2月 カレンダー

第1回景観写真
コンテストから
「雪の凌雲寺跡」



※開催場所・時間など、詳細はお問い合わせください。

開催日 (曜日)	イベント名(開催地域) 問い合わせ先(電話番号)	開催日 (日)	イベント名(開催地域) 問い合わせ先(電話番号)
	ムン・キョンウォン+ YCAM 「プロミス・パークー未来のパターンへのイメージーション」 (~2月14日) (白石) 山口情報芸術センター[YCAM] (☎ 083-901-2222)		消防出初式 (名田島) 消防本部警防課 (☎ 083-932-2202)
			成人式 (白石) ※式典は市民会館で14時から 社会教育課 (☎ 083-934-2865)
	企画展「鑄銭司発掘50年」 (~2月21日) (鑄銭司) 鑄銭司郷土館 (☎ 083-986-2368)		「山口市景観写真コンテスト」 応募作品の展示および市民投票 (~2月7日) (白石、小郡、秋穂、阿知須、 徳地、阿東) 都市計画課 (☎ 083-934-2831)
	企画展Ⅱ「中野の住んだ町一新宿」 (~4月17日) (湯田) 中原中野記念館 (☎ 083-932-6430)		ニューイヤーバンドフェスティバル2016 (白石) 市民会館 (☎ 083-923-1000)
	元日登山・雨乞山 (小郡) 小郡地域交流センター (☎ 083-973-0638)		市駅伝競走大会 (阿知須) 生涯学習・スポーツ振興課 (☎ 083-934-2874)
	鴻の峰新春登山 (白石) 生涯学習・スポーツ振興課 (☎ 083-934-2874)		17 (日) 
1 (金・祝)	初日にちかう会・文殊岳 (徳地) ゆたかな串を育てる会 (☎ 0835-54-0776)		23 (土) 南部地区人権学習推進大会 (名田島) 嘉川地域交流センター (☎ 083-989-2018)
			24 (日) あとう雪まつり (阿東) 阿東地域交流センター (☎ 083-956-0116)

30 (土)
やまぐち新進アーティスト大賞最終選考ノミネート作品展
(~2月7日) (大殿)
文化政策課 (☎ 083-934-2717)

2/11 (木・祝)
市民ロードレース大会 (秋穂二島)
生涯学習・スポーツ振興課
(☎ 083-934-2874)

湯田温泉観光回遊拠点施設

狐の足あと

YUDA-ONSEN WELCOME SQUARE

中野のいた湯田温泉カフェ

昭和初期の湯田温泉をイメージしたNゲージのジオラマ展示やSL「やまぐち」号の紹介パネルを展示した昭和レトロのカフェが2階ギャラリーにオープン。

■期間 1月中旬~5月末

原田和明オートマタ展「山口物語」

第1回やまぐちACS賞受賞者、原田和明氏制作のオートマタ(からくり人形)を1階に展示。

■期間 3月末まで

入館無料 <足湯/大人200円、小・中学生100円>

☎ 狐の足あと ☎ 083-921-8818

狐の足あと

表紙



サポーターの声を文字に現してみました

今月の表紙は、レノファサポーターによるJ2昇格祝いです。9月以降、維新公園で行われた試合に来ているサポーターにお願いして、写真を撮影させていただきました。サポーターからは「この画用紙はどうなるの?」なんて怪訝そうな顔で質問され、「J2に昇格しなかったらどうしよう」と撮影をされていて不安になりましたが、レノファを信じて撮影を続けました。そして今回、こうしてお披露目ができて本当に良かったです。今回撮影を通じて、県内外からたくさんのサポーターが本市に訪れ、活気づいていることを実感しました。今後もレノファの活躍に期待しています。

この広報紙は再生紙を使用しています。
使い終わったら、「新聞紙」として
古紙類の分別収集に出しましょう。

市報やまぐち 1月1日号

発行 山口市 〒753-8650 山口市亀山町2-1 <http://www.city.yamaguchi.lg.jp>

編集 総合政策部広報広聴課 ☎ 083-922-4111 (代表) / 印刷 株式会社マルニ